

## 10月例会「初秋・魅惑のアサギマダラ探検」報告

令和元年10月20日(日)午前10時～正午、「代継宮」駐車場集合。参加者36名(うち会員17名)。

アサギマダラをテーマとした例会(観察会)は、今年初めての試みです。

朝夕は涼しく感じる季節、爽やかな秋風の吹く絶好の観察日和となりました。

定刻の午前10時、藤井会長の開会あいさつの後、みんなで代継宮に「みんなが健康でありますように。今日の例会が無事に終わりますように」とお願い(参拝して例会がスタートします)。

最初は紙芝居「立田山ができるまで」を見て、「大昔、立田山は大噴火する(古)金峰山の麓だった。その後、金峰山が陥没して取り残された外輪山の一部」であることを学びます。チョッピリ難しい話でしたが、子ども達は真剣に聞いてくれました。

続いて代継宮境内の自然観察会。指導員から「はぎ・おばな、くす・ふじばかま、おみなえし、ききょう・なでしこ、秋の七草」と五・七・五・七・七の和歌を教してもらい、呪文のように大声で何度も唱えます。春の七草の和歌と混同して「あれ?」と分からなくなる子もいました。

境内を歩くと、ハギ、ススキ、クズを直ぐに見つけます。イノシシの掘り返した跡、ひつつきむし(アメリカセンダングサ、ヌスビトハギ)もあります。境内はもう秋でした。

午前11時前、いよいよアサギマダラの待つ「龍田西おもてなし園」に向けて移動開始です。10分ほど歩くと「おもてなし園」の入口に到着。龍田西校区第4町内自治会の福野会長、おもてなし園のお世話をしている穴見特別顧問のお出迎えを受けました。園内には沢山のコスモスが風に揺れていました。

先ず、穴見先生のお話し。「アサギマダラは、春に南の島から北上し、秋に本州から南下する、旅(渡り)をする謎だらけのチョウ。旅の途中にここに寄って一休みします。一日に何十頭も飛来する年もありました」「アサギマダラとの出会いは30年前の喜界島。その優雅な姿に魅せられ、アサギマダラのことを勉強。4町内の自治会長になり、アサギマダラおもてなし園を『核』とするまちづくりをスタートさせました」「ヤブを切り開き、アサギマダラが好むウツギ、アザミ、フジバカマを植え付けましたが、ここまで育てるのは大変でした」とお聞きしました。でも、今年は飛来数が少なく、今日は、今朝からここにも姿を見せていないとのことでした。

お話しの後、みんなで「おもてなし園」を自由に見学します。その時です、「アサギマダラが来た〜!」と叫ぶ声が聞こえます。「どこ、どこ」と声のする場所にみんなが集まります。アサギマダラが1頭、ひらひらとフジバカマの上を優雅に飛び回っています。大人も子ども達も「きれいかねえ、感動した」「ふわふわ飛びよる」「僕たちに会いに来たとバイ」「今日はダメかと思っていたが・・・」と大喜び。カメラやスマホで写真もたくさん撮りました。

しばらく観察した後、指導員がアサギマダラを捕虫網で捕獲。参加者代表の龍田西小学校児童が、チョウの羽根にマジックペンで「今日の日付、場所」を記入(マーキング)して再び空に放ちます。子ども達は「元気でね」「また来てね」と拍手で見送りました。

正午過ぎ、終わりの会です。藤井会長から福野会長や穴見先生へお礼の言葉、みんなから拍手を送ってお礼の気持ちを伝えました。アサギマダラのお話し、おもてなし園の案内、アサギマダラの絵葉書、ジュースのおもてなし、重ね重ねありがとうございました。今年初めての試みは大成功でした。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

